

宇和島市

姉妹都市に

当別町

愛媛県宇和島市と当別町は、平成 21 年 7 月 5 日（日）、大崎市岩出山地区の旧有備館において姉妹都市盟約締結に調印します。今月号では、これまでの友好交流の経過と宇和島市の紹介を掲載します。

宇和島市との交流の経過

当別町は、平成 12 年に開拓 130 年を機に本町の礎を築いた伊達邦直公の故郷、宮城県岩出山町（現大崎市）と姉妹都市盟約を締結しました。

その前年に宇和島市と岩出山町は、伊達政宗の流れをくむことから姉妹都市盟約を締結していました。

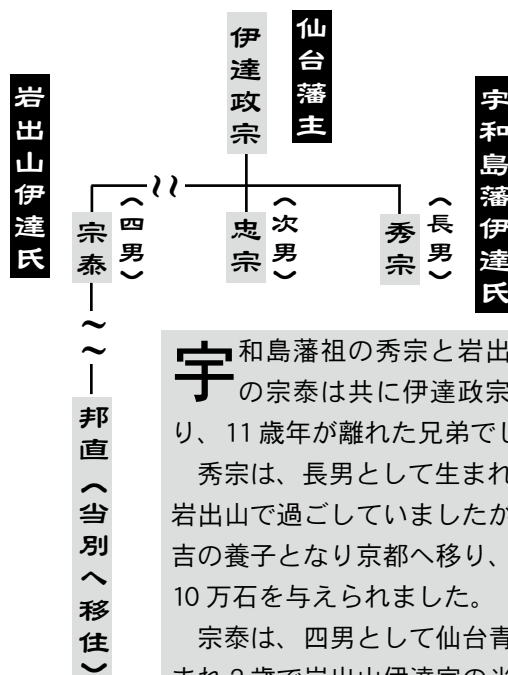
平成 18 年 3 月に、岩出山町が合併して新しく大崎市となることから、合併後も宇和島・岩出山・当別の三極交流を続けようと「友好交流の証」を取り交わしました。



平成 18 年 3 月 19 日
岩出山町有備館

- 平成 11 年 岩出山町（現大崎市）と宇和島市が姉妹都市盟約を締結
- 平成 12 年 岩出山町と当別町が姉妹都市盟約を締結
- 平成 18 年 3 月 18 日、岩出山町有備館において、宇和島、岩出山、当別が「友好交流の証」に署名。今後の三極交流を確認。

姉妹都市交流 豆知識



宇和島藩祖の秀宗と岩出山伊達家の宗泰は共に伊達政宗の子であり、11 歳年が離れた兄弟でした。

秀宗は、長男として生まれ 4 歳まで岩出山で過ごしていましたが、豊臣秀吉の養子となり京都へ移り、宇和島藩 10 万石を与えられました。

宗泰は、四男として仙台青葉城で生まれ 2 歳で岩出山伊達家の当主に就いています。

今回の姉妹都市盟約の締結は、時期は違いますが 2 人が生活をしたゆかりの地、「岩出山」で行われることになったのです。

宇和島市のご紹介

宇和島市は、仙台藩祖伊達政宗公の長男伊達秀宗公によって城下町が整備され、以来390年に亘り、四国西南部の中核都市として発展しています。

平成17年には、吉田町、三間町、津島町との合併により新しい市制をスタートし、現在の人口は87,971人（平成21年5月現在）です。

東側に急峻な鬼ヶ島連邦、西は宇和海に面して典型的なリアス式海岸が続ぎ、豊かな海を利用して真珠や真鯛などの養殖が行われています。

また、温暖な気候を利用してみかんの栽培も盛んです。夏には牛鬼祭りが開催され、多くの来場者で賑わいます。

直線距離で
1,357km

当別町



①



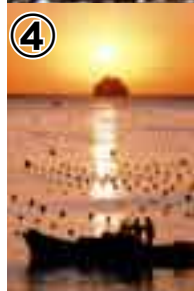
②



③



④



- ① 宇和島城
- ② 闘牛
- ③ 宇和島牛鬼まつり
- ④ 真珠の養殖風景

姉妹都市を契機に幅広い交流へ

現在、宇和島市と当別町は相互訪問や特産品の販売を通して交流をしています。

当別町の「ふれあい倉庫」では、宇和島市特産品である海産物やみかんなどが並べられ、定期的に宇和島フェアと銘打ったイベントを開催しています。一方、4月にオープンした宇和島市の交流拠点施設「きさいや館」でもロイズのチョコレートをはじめ、当別町の特産品を販売しています。このほかに、宇和島市の牛鬼まつりや当別町の夏至祭、あそ雪の広場など各種イベントでの相互訪問も行い、親睦を深めています。

姉妹都市盟約締結を契機に交流の幅を教育、文化、産業、経済などへ広げ、お互いのまちのさらなる活性化が期待されています。

▼担当 総務課総務係 (☎ 23 - 2330)



ふれあい倉庫朝市で
宇和島フェアを開催



4月にオープンした「きさいや館」